

## 修了にあたって

高度情報化社会への急速な移行、少子高齢化の進行、地方分権に向けた市町村の相次ぐ合併など、今の日本の社会状況は大きく変化しています。そのような社会の変化に伴い、教育課題もますます多様化し、複雑化しています。平成18年度も様々なことがありました。中でも、いじめ問題が大きく報道され「文部科学大臣からのお願い」や教育再生会議教育再生分科会からは「緊急提言」が発表されました。さらに、昭和22年制定以来、一度も改訂されなかった教育基本法が改正されるなど、我が国の教育は大きな変化の時を迎えています。

このような教育改革の大きなうねりの中、私たち11名は、静岡県総合教育センターに長期研修員として派遣され、研修研究部教職研修課（3名）、研修研究部カリキュラム開発課（1名）、研修研究部進路指導支援室（1名）、研修研究部情報教育研修課（2名）、教育支援部教育相談課（2名）、教育支援部特別支援教育課（1名）、生涯学習推進センター（1名）に配属され研修を深めました。

私たちの研修は今日的な教育課題を把握することから始まりました。子供の成長にとって真の課題は何なのか、そのために教員に求められるものは何なのかなど、中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」、「学習指導要領」、「静岡県教育計画『人づくり』2010プラン」等を基に、国や県の目指す教育の姿と実際の教育現場の姿を比較し、課題を明らかにしました。そして各々が各課に関係する研究主題を設定し、その課題を解決すべく研究を進め、ここに「平成18年度長期研修研究報告書」としてまとめました。本冊子が読んでいただく方にとって、少しでもお役に立つものとなればこの上ない喜びです。今後も教育課題の解決と、21世紀を切り拓く心豊かでたくましい子供の育成を目指し、努力していきたいと考えています。

私たちは研修中多くの方から、教育者として、人間として大切なことを御教示いただきました。所長からいただいた「『教育とは～』『個性とは～』など『～とは～』が語れる教員であれということ」、副所長からいただいた「『明珠在掌』という言葉を中心に留め、自分を磨くこと」など、貴重なお言葉の数々を大切に受け止めていきたいと思えます。各課長、室長、センター長の講話、有識者による講演を聴き、それらの内容について長期研修員同士で討議し、私たちにあり見識を深めるよう努力しました。これら研修で学んだことが、長期研修の目的である「学校及び地域の教育を推進する実践力」となり、更に静岡県の教育の発展に寄与できるよう、今後も研修を深めていきたいと思えます。

最後になりましたが、このような貴重な研修の機会を与えてくださいました静岡県教育委員会並びに各教育関係機関に感謝するとともに、私たちの研究に御協力いただきました学校、専門機関及び所属校の校長や諸先生方、そして所長・副所長はじめ所員の方々に心よりお礼を申し上げます。

平成19年3月

平成18年度長期研修員一同